

# 地域づくり協議会だより

発行日：平成30年3月1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会  
一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

◎ 原稿募集中

広報部会

とびらを開けてあなたを待っています。大和町連区には、皆さんの近所に誰でも気軽に集い、楽しくふれあいながら、仲間づくり・居場所づくり・生きがいを目的とする「ふれあいサロン」が町内ごとに誕生しています。 **特集①**

## ニコニコサロン

偶数月 第1水曜日 大和公民館

大和町連区地域づくり協議会主催、町会長協議会、民生児童委員・児童育成協議会、老人クラブ連合会、社協大和支会の協力による連区全住民を対象にしたふれあいサロンです。



## 於保ふれあいサロン

毎月 第1月曜日

於保公民館

12月「リース」作り

旧校舎で穏やかな時空間の流れるサロン



## 花池ふれあいサロン

毎月 第4月曜日

花池公民館

歴史を持つ味わいのあるサロン 11月「キーホルダー」作り



## 毛受ふれあいサロン

毎月 第4日曜日

毛受公民館

楽しさ満載ほかほかサロン 9月「ぬり絵カレンダー」作り



## ほっとサロン

毎月 第1木曜日

住吉公民館

あつき思いに包まれ4年目に入ったサロン 12月「リース飾り」作り



## 馬引ふれあいいけいけサロン

毎月 第3日曜日

馬引公民館

熱気あふれる笑顔いっぱいサロン 12月「天使」作り





シルバー教養講座 「社会見学」(11月28日)

# 遠州一宮・小國神社と焼津温泉

高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会  
大和支部監事 内田 清



一宮市高齢者の生きがいを健康づくり推進協議会大和支部が主催する事業で、大和老連の方々が中心に参加されています。九月二十六日より七回の講座と二回の料理教室が開催され、十月に講座のまとめとして十一月二十八日に社会見学が実施されました。遠州一宮・小國神社と焼津温泉に出かけました。好天に恵まれ参加者の気分も高揚、笑顔にあふれていました。小國神社は、開運・縁結び神社として有名な名刹、参道及び宮川沿いの見事な紅葉を楽

生きがいは、健康と学びの心でより豊かに！

しみながら参拝、ことまち横丁などを各自自由散策しました。焼津温泉では、新鮮な海の幸に堪能し、食後の温泉で日頃の疲れを癒やしました。帰りはお魚センターに立ち寄り海産物ショップPING。バスの中は、お互いに話も弾み、和やかな空気に包まれました。心も満たされ取り置きの一日になりました。

「より充実した人生をおくるために」を学習主題として、大和公民館で十月十二日より五講座を受講後十一月二十四日六十六名の参加で社会見学に出発しました。最初に訪れた宋休寺は、関市にある天台宗の寺院で、通称「関善光寺」と言われ、とても紅葉がきれいで、本堂の下に日本で唯一の卍型の戒壇があり、多くの方が戒壇巡りをしました。五郎丸ポーズに似て話題の仏像「宝冠大日如来」が安置されています。昭和三十年代の里山の風景を再現した場所

「ニューアール中」も尋ねました。デジタル化が進む今日に比べ、時間のゆったり流れている時代、人と人との絆が強くなった時代「昭和三十年代」に思いを馳せ、里山の暮らしに触れ、皆さんとゆったりと散策しました。蚕を飼っていた農家、蚊帳をつっていた民家、駄菓子屋等を見学して、懐かしい時にタイムスリップしたように感じました。土産物店では、皆さん楽しそうにご家族にお土産を購入してみえました。参加された皆さんと役員一同有意義な一日を過ごすことができ、感謝しています。

## 成人学習講座社会見学(11月24日)

成人学習部 部長 内田 茂



大和連区交通安全会は、一宮警察署、交通安全会役員、学校関係者をはじめ町内の方の協力の下、シートベルト等の着用励行と交通安全意識高揚を目的として、十一月二十二日、「一時停止・横断者保護」しながらスマホ、ながら運転注意」を呼びかけた。

## ながらスマホ禁止



## で行くぶらり散歩②

☆多 散策場所 戸塚『七ツ石古墳』  
名鉄名古屋本線 妙興寺駅下車 南西1200m徒歩15分



大和町戸塚町内のほぼ中央の道路沿いに十八個の石が集められ「七ツ石」と呼ばれる場所がある。別名を剣研石(けんときいし)と言う。『尾張名所図会(おわりめいしよずえ)』にも、現在と同じ様子で描かれており、昔から有名な伝承地であったようだ。東征から戻った「日本武尊」は、尾張に滞在し、伊吹山に荒ぶる神がいると聞いて退治に旅立つ。途中、自分の持っていた剣を当地の石で研ぐ。その表面が平滑に加工されている痕跡を残し、自然石ではないように思われた。そこで、昔の人は、その滑らかな平面を見て「砥石(といし)を連想して、伝説と結びつけたのである。現在の研究では、ちようど横穴式石室として手頃な大きさで、一部の石は平滑に加工されており、破壊された古墳であると考えられている。また、北におよそ500mの「宮地花池字下り松」に、「日本武尊」が松に笠をかけて休んだと言われている「笠懸の松」がある。(参照：日本伝承大鑑)

昔、子どもの頃石の上で鬼ごっこをしていたよ。

